

働く男のライフスタイル情報紙

# Biz<sup>[ ビズスタ東京 ]</sup>Life Style

特別版

2017 09

『BizLifeStyle』は東京、神奈川、名古屋、関西、  
京都・滋賀、仙台、福岡、広島にて62万部発行  
下記URLまでアクセスを。

[www.biz-s.jp](http://www.biz-s.jp)

広告掲載に関するお問い合わせ・申し込みは  
TEL.03-6854-7001 FAX.03-6854-7005

企画・制作／株式会社ディリースポーツ案内広告社  
〒110-0015 東京都台東区東上野4-8-1 TIXTOWER UENO 14F  
© 2017 DAILY ADVERTISING AGENCY CO.,LTD



本日・2017年9月1日、  
JAL 成田=メルボルン線が開設!



My Favorite Life Style



歴史的な建物とモダンなデザインが融合した街メルボルン。街中を縦横に走るトラムはメルボルンのシンボル。



1870年開業。メルボルンで最も古いアーケード「ロイヤル・アーケード」。ジュエリーやブティックの他、メルボルン発祥の人気チョコレート「KOKO BLACK」の本店がある。

## この秋冬の旅行先の本命に浮上。今日、JALの直行便が就航したメルボルンの魅力とは。



世界遺産「ロイヤル・エキシビション・ビルディングとカールトン庭園」。



グレート・オーシャン・ロード観光のハイライト「12使徒」の絶景。

メルボルンと日本の時差は、約1時間(夏時間中は2時間)ほど。冒険で触れた通り、今月からはJALで直行便も就航しているのだから、これについては、次のページで詳しく紹介したい。

メルボルンと日本の時差は、約1時間(夏時間中は2時間)ほど。冒険で触れた通り、今月からはJALで直行便も就航しているのだから、これについては、次のページで詳しく紹介したい。

「昨年の日豪経済連携協定(EPA)の発効以来、ますます結びつきが深まるオーストラリアとの関係。今日9月1日からは、オーストラリア第2の都市メルボルンと成田を結ぶJALの直行便が就航を開始。もとより日本企業が多数進出しているメルボルンだが、今後はさらに交流が活発になりそうだ。

ビジネスで、観光先として、大きく存在感を増すメルボルン。そこで今回は、その魅力を簡単に学んでみよう。

まずは、日本の約20倍、世界6位の広大な国土を誇るオーストラリアの基礎知識から。物理的な広さ以上に開放感を感じるのは、1平方キロあたりわずか3人という人口密度の低さにある。あるのも、6,200人以上がひしめく東京都内と比べると、そのゆとり感が伝わるだろう。

人間がいない万、野生動物は世界屈指の「大園」状態。多くが



オーストラリアを代表するワイン産地「ヤラバレー」の人気ワイナリー「ドメイン・シャンドン」。



「レーンウェイ」と呼ばれる小路にはお洒落なカフェやお店がたくさん。

また、そのワインがエスコートしてくれる食の楽しみも豊かだ。カナダに次ぐ世界2位の食料自給率を背景に、生力キ、サーモンやロブスターなどのシーフードのほか、定番のオーガニックな食材も、モダンオーストラリア料理と呼ばれる、食材の良さを生かしつつ、各国の調理法を取り入れたフュージョン料理も確立されている。実はグルメ旅行に最適な国でもあるのだ。

豊かな自然環境は、成熟した食文化を育てる。まずチヤクしたいのが、世界第5位の輸出国である「ワイン」だ。国内には2010年現在で約500ものワイナリーが点在しており、毎年、国際的な品評会で権威ある賞を獲得するなど、いまやワインファンの聖地のひとつへと成長している。

いよいよ開設した期待の新規路線によってさらに深まる日本とオーストラリアの絆。



メルボルン文化の発祥地「フェデレーション・スクエア」はいつも活気があり、イベントも多い。

世界で最も住みやすいと激賞を受けるメルボルンの街

さて、今回の主役であるメルボルンへ目を移そう。最のメルボルンは「世界で最も住みやすい都市のひとつ」として大きくクローズアップされている。英「エコノミスト」誌の調査ランキングでは、2011年から今年まで実に7年連続して1位に選出されているので、ご存じの方も多いだろう。

よく「同じ街でも生活者視点と旅行者視点では違ふ」という表現を耳にするがメルボルンに関しては、両者の差はほとんど気にしなくてよい。たとえば、移動手段などは好例だ。メルボルンには「トラム」と呼ばれる路面電車が公共交通機関として運営されているが、これは市内の大半の観光スポットをカバーする充実の路線。しかも、昨年から、メルボルン市内中心区域およびドックランド地区内すべてのトラム乗車が無料化されている。これひとつを取っても、住人だけでなく旅行者にもやさしい街ということがわかりいただけるはずだ。

### ◎オーストラリア・メルボルンの最新情報はこちらから

オーストラリア政府観光局 公式サイト&SNS [www.australia.jp](http://www.australia.jp)

[www.facebook.com/AustraliaJP](https://www.facebook.com/AustraliaJP)

[https://twitter.com/Go\\_Australia](https://twitter.com/Go_Australia)

[www.instagram.com/australia.jp](https://www.instagram.com/australia.jp)

ビクトリア州政府観光局 公式サイト&SNS <http://jp.visitmelbourne.com/>

[www.facebook.com/melbourne.jp](https://www.facebook.com/melbourne.jp)

[www.instagram.com/visitmelbourne/](https://www.instagram.com/visitmelbourne/)



「世界で最も住みやすい都市」メルボルン。



# 今日、オーストラリアへの 新たな旅が始まる。



完全フルフラットベッドが導入されたビジネスクラス「SKY SUITE」



初期ビジネスクラスを思わせるプレミアムエコノミー「SKY PREMIUM」



8席配列を維持し、前後間隔を5cm拡大したエコノミー「SKY WIDER II」

成田＝メルボルンの新規路線に導入されるのは、「ひとクラス上の最高品質」をテーマとしたJALスカイスイート仕様のボーイング787だ。快適さが重視されたシートは3クラス用意されているので、まずはそれぞれの詳細をチェックしておきたい。

**ビジネスクラスの「SKY SUITE」**  
「SKY SUITE」は、何よりも寝心地にこだわったフルフラットシートが特徴。足元まで十分に広いベッドポジションが取られた贅沢なもので、ヘッドマットレスや枕なども快適な眠りのために専用に開発されている。ほとんど個室のように感じるプライベート空間を実現している上に、ストレスフリーの全席通路アクセス。PC

**アワードウィナーをはじめ  
快適さを極めた3種類のシート**

JALが今日から成田＝メルボルン線を開設した。すでに運航中のシドニーに続くもので、オセアニア地区へのネットワークがさらに強化されたことになる。毎日運航で、しかも直行便。利便性もさることながら、快適性も大きな魅力となっているので、ひとつずつ確認しよう。

電源USBポートなど、ビジネス面でのサポートの充実も見逃せない。

なお、このSKY SUITEは、SKYTRAX社が運営する2013年「ワールド・エアラインアワード」で、世界で最も優れたビジネスクラス座席に贈られる「ベスト・ビジネスクラスエアラインシート」賞を受賞している。これは日本の航空会社で初の快挙とのことなので、その居住性が想像できるだろう。ビジネスパーソンであれば、メルボルンへの旅行がてら、評判の快適性能を確認するのもアリだ。

続いては、プレミアムエコノミークラスの「SKY PREMIUM」だ。機能性とプライバシーの両立に配慮したプレミアムシートで、前席の背もたれが倒れてこない構造を採用。常に一定のゆとりを保つことで、上質感を約束してくれる。また、従来の座席より前後の幅が10センチほど広げられ、体感的な機能性も大きく向上。座席のスライド幅も約7センチ拡大されている。

ほかに、タッチパネル式の12.1インチモニターや、A4サイズのPCも余裕の大型テーブル、プライバシーを高めるセンターディ

バイダーなど、細やかな配慮も嬉しい。出発前に専用ラウンジが使えるというのも、プレミアムエコノミークラスの魅力といえるだろう。

最後に、エコノミークラスの「SKY WIDER II」は、座り心地の向上が徹底されている。現行座席と比較してシートの前後間隔が5センチほど広がり、エコノミーながらゆとりを感じる空間を実現。また、横9席配列が主流を占める最近のエコノミークラスの空間設計に対し、横8席を維持している点もポイントだ。座席幅は約48センチにも及ぶので、シートに腰掛けたらまず確認してみよう。

シドニー線とは昼夜が逆となるダイヤ設定を組むなど、私たち利用者が気付かないような細部にまで「品質アップ」を追求するJAL。もともと人気の旅行先であるメルボルンだが、これからはさらに快適な旅が楽しめるようになるだろう。

なお、ダイヤは以下の通り。現在、ダブルマイルキャンペーンや特典航空券マイルバックキャンペーンも実施中なので、こちらもぜひチェックしよう。

期間中にJALメルボルン線にご搭乗いただくと、  
**通常のフライトマイルと同数のボーナスマイルをプレゼント!**

**2017年9月1日(金)～2017年11月30日(木)(ご搭乗日)**  
**事前登録** ご搭乗前にキャンペーン登録が必要です。  
ご搭乗後に参加登録された場合やキャンペーン登録がない場合はキャンペーン対象外となります。  
**対象旅客** JALマイレージバンク(JMB)会員で、当キャンペーンに参加登録された方  
**対象路線** JAL国際線 東京(成田)ーメルボルン線 JL773 / JL774 ※コードシェア便は対象外です。  
その他の詳しい条件はホームページを参照ください。 [https://www.jal.co.jp/121campaign/mel\\_wmile17/](https://www.jal.co.jp/121campaign/mel_wmile17/)

**NEW JAL新路線 成田＝メルボルン線 本日より毎日運航!**

| 便名    | 運航日 | 機材            | 出発時刻       | 到着時間       |
|-------|-----|---------------|------------|------------|
| JL773 | 毎日  | SKY SUITE 787 | 成田10:30    | メルボルン21:55 |
| JL774 | 毎日  | SKY SUITE 787 | メルボルン00:05 | 成田09:05    |

※2017年9月1日(※1)～9月30日までの運航スケジュール (メルボルン発は2017年9月2日より運航。)

日本航空株式会社 [www.jal.co.jp/](http://www.jal.co.jp/) メルボルン特別ページ [www.jal.co.jp/inter/route/mel/](http://www.jal.co.jp/inter/route/mel/)



**JAPAN AIRLINES**

日本航空株式会社

東京都品川区東品川2-4-11 野村不動産天王洲ビル